



フィリピン人実習生の皆さんの冷蔵庫の中を拝見！野菜類が豊富で、健康にも気を配った食生活がうかがえます！

5月に入り、あじけんにもようやく春らしい日々が訪れてきました。それでも、朝夕の冷え込みはまだまだ厳しく、この時期に風邪などで体調を崩してしまう実習生の皆さんも少なくありません。あじけんでは、この時期、日本の気候や健康管理の話題を会話練習に積極的に取り入れて、実習生の皆さんが、元気に日本語学習に励めるようなサポートに取り組んでいます。

あじけん日本語講師ファイル

Vol.6: 秋元 由美



初めまして。私はあじけんでは実習生に日本語を教えて4年となりました。始めは、実習生に日本語を教えた経験がなかったので、不安でいっぱいでしたが、あじけんの先生方からの指導もあり、今では楽しく教える事が出来ています。まだまだ未熟ものですが、実習生とめまぐるしい日々を送っています。実習生のみなさんが、楽しく日本語の学習が出来るように、これからは努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお祈りします。

Q1 これまで教えた中で一番印象に残っている実習生は？

私があじけんでは日本語講師を始めてからすぐに受け持った大人数クラス(29名)のインドネシア人実習生達です。人数が多かった為、一人一人に目がいき届かず、100時間という限られた時間の中で、どう日本語を教えたらいいかとても悩みました。その実習生達は実習先に行ってから連絡をくれたり、時々センターに会いに来てくれたりしました。

Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

実習生みなさんに日本語で積極的に「コミュニケーション」を図ろうとする気持ちを持ってもらうことです。そのために、異国に来て生活する不安を取り除いてあげ、「話したい」という気持ちを持たせるようにしています。また、私から積極的に話しかけることで、実習生達も私に話しかけやすい環境を作るよう心掛けています。また、実習先で少しでも役に立つ実践的な日本語(特に語彙)等を中心に授業を工夫しています。

今月の実習生

フィリピン共和国出身

ASTILLERO GERONIMO OLAYRES

今月の実習生は、フィリピン人実習生のニモさんです。ニモさんは、男性実習生には珍しく、自己紹介で「趣味は料理です」というほどの料理自慢。寮では同室の仲間の食事を一手に引き受けて、毎日自慢の腕を振るっています。

そこで、今回は特別に代表なフィリピン料理を作ってもらいました。ニモさんが作ってくれたのは CHIKEN ADOBO (チキンアドボ)という料理で、フィリピンではどこの家でも食べられている家庭料理だそうです。味は醤油と酢をベースに鶏肉を煮込んでいるので、ご飯によくあう一品。鶏肉も柔らかく煮込んであり、試食したあじけんスタッフは、口々に「自分でも今度作ってみたい!」と言っていました。

「ニモさん、ご馳走様でした!」(スタッフ一同)



手早く下ごしらえ



慣れた手つきで鍋を振り



わずか30分で出来上がり!

あじけん流日本語授業

～学習者主体のコミュニケーション活動③：スピーチ発表～

今月のあじけん流日本語授業は、「個人スピーチ」を活用したコミュニケーション活動の実践例をご紹介します。

この活動は、「話す」「聞く」「書く」「読む」の4つの技能が全てが取り入れられている点で、実習生の皆さんにとって理想的なコミュニケーション活動の1つといえます。ただし、活動の難易度が高いため、実習生の日本語の習熟度によっては、実践が困難な場合もあります。なお、この個人スピーチを用いたコミュニケーション活動は、主に、朝の会の時間を利用して、毎日1名～2名の実習生がスピーチを行なっています。

STEP 1 話す



まずは、個人スピーチの発表

STEP 2 話す・聞く



次に、司会者を中心にスピーチの内容についてのクラスディスカッション

STEP 3 書く



ディスカッションが終わったら、スピーチの感想や発表者へのアドバイスを評価カードに記入。もちろん日本語です！

STEP 4 読む



最後に、司会者は評価カードを集めて発表者へ手渡します。発表者はカードを読んで自分のスピーチを振り返ります。